

感染症予防衛生隊研修会(2018年10月)報告

(公社)東京都ペストコントロール協会 理事・感染症委員長 渡邊 徹

去る10月30日、アルカディア市ヶ谷において2018年10月度「感染症予防衛生隊研修会」を実施した。感染症予防衛生隊登録18社から各2名、登録予定3社から各2名の参加と、感染症委員・技術委員会5名の他、日本液炭(株)、住化エンピロサイエンス(株)より計3名の聴講と、会長、協会理事を含め54名の参加を得ての開催となった。

カリキュラム(表1)は、今回を第1回として東京都福祉保健局感染症対策課・赤木孝暢先生から「感染症対策 総論 I」について講義を頂いた。内容は、9年ぶりに見直された東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課編集、

2018年3月発行の「感染症対策マニュアル2018」を基に、感染症について東京都の指針、関係法令、分類、病態、消毒方法について詳細に解説していただくこととした。

今回は、総論①～⑤「感染症の基本的な考え方」「感染症の基礎」「感染症の検査」「感染症の予防」「予防接種」についての講義を頂き、以降第2回、第3回と「輸入感染症」「動物由来感染症」等稿を進めていただき、体系的に感染症を理解し正しく対処できる知識を身に付けることを目的とした。

今回の配布資料(77～85ページ：感染症講習会スライド)は貴重な参考書となるが、本

表1 平成30年10月度「感染症予防衛生隊研修会」カリキュラム

時間		演題	講師(敬称略)
13:00～	13:10	10 挨拶	会長 清水 一郎
13:10～	14:30	80 感染症対策 総論 I (東京都感染症マニュアルの解説) (質疑応答を含む)	東京都福祉保健局健康安全部 感染症対策課 赤木 孝暢
14:30～	14:40	10 休憩	
14:40～	15:50	70 防護服及び呼吸用保護具の取り扱い 方法と着脱訓練	株式会社 重松製作所 東京営業所 所長代理 和田 恵太
15:50～	17:00	70 蚊防除に使用する薬剤・器材について 作業性について事例報告	鵬図商事株式会社 芝生 圭吾 アペックス産業株式会社 佐々木 健

感染症予防衛生隊研修会(2018年10月)報告

書は都庁第一本庁舎都民情報ルームにおいて2440円で頒布されているので御一読頂きたい。

次に重松製作所(株)東京営業所和田副所長より、呼吸保護具・防護服脱着についての講義を頂いた。感染経路に対する保護具の重要性、特にサージカルマスクと95マスクの機能の違い、介助者を得ての防護服着脱手順について詳細に解説され、また受講者に防護服セットの提供を頂いた。

更に、鵬凶商事(株)芝生圭吾氏より「蚊成虫防除に使用する薬剤・器材」について「実地試験の結果、それぞれの器材の特性について実際に器材を持ち込んでの解説」を頂き、更に佐々木健技術委員から「薬用植物園における薬剤散布試験」についての報告を得た。これらはともに実践的であり、蚊成虫防除作業に極めて有益な情報が伝えられた。

参加者にアンケートを実施したところ、表2の結果を得た。いずれも70～80%に及ぶ参加者に有益であったと認めて頂いた。

諸先生ともに入念な準備を頂き、大変濃い内容となり、質疑の時間を用意できなかったことを主催者としてお詫びするとともに衷心より感謝申し上げる。

今後の研修会の方向性として、赤木先生の体系的な講義を更に回を重ね、感染症を正確に理解するとともに、反復履修を要するスキルの向上、知見を有される諸先生による実践的な講義、トピックスの提供により受講を重ねるにつれて知識とスキルが高まる講習会テーマとしたい。感染症予防衛生隊登録には年2回の研修会の受講の他に物的要件を満たす必要がある。研修会は「感染症予防衛生」登録の必須要件として開催されるが、登録のためのみでなく、役に立つから参加しようと思認識して頂ける会にすべく感染症委員会総力を挙げて取り組む。登録各社にあってはテーマについてご意見を頂きたいとともに、未登録各社にあっては、次回5月研修会に是非ご参加頂き予防衛生隊への登録をご検討頂きたい。

表2 アンケート結果(有益であったと回答した割合)

感染症対策 総論 I (東京都感染症マニュアルの解説) (質疑応答を含む)	東京都福祉保健局健康安全部 感染症対策課 赤木 孝暢	78%
防護服及び呼吸用保護具の取り扱い方法と着脱訓練	株式会社 重松製作所 東京営業所 所長代理 和田 恵太	69%
蚊防除に使用する薬剤・器材について 作業性について事例報告	鵬凶商事株式会社 芝生 圭吾 アベックス産業株式会社 佐々木 健	80%

